

発達障がいのある人の職業訓練

学校を卒業したら、まずは仕事のスキルを身につけて、それから適性にあつた仕事について欲しい。そう思うなら、職業訓練を受けるとよいでしょう。

発達障がいのある人に向けた就労支援の動き

ハローワークに登録すると国立や県立の「障害者職業能力開発校」を紹介されることがあります。ただし、発達障がいのある人に特化した訓練を行っているところは、国立職業リハビリテーションセンター（埼玉県所沢市）のみで、この場合ハローワークに「発達障がい」として求職登録しており、通所が可能な人が対象です。障害者職業能力開発校は、身体障がい、精神障がい、もしくは知的障がいのある人を対象としています。



発達障がいのある人を意識したプログラムへの取り組み

ホープIT訓練センター（東京都千代田区）では、発達障がいがあるがゆえに対人関係やコミュニケーションに課題のある人の就労支援を行っています。発達障がいのある人は、「場の空気が読めない」「人の表情が読めない」など、ソーシャルスキルの未熟さや、人とのコミュニケーションがうまくいかないため、就労・職場定着につまづくことが少なくありません。ここでは、ビジネスマナーや電話対応、ファイリングやコピーなど基本的な就労支援プログラムのほかに、「コミュニケーションワーク」「ソーシャルスキル」などの独自のプログラムを設け、苦手な部分の克服を目指しています。

紹介しました。ただし、すべての事業所でこのようなプログラムを組んでいわけではありません。どんなプログラムが受けられるのかを含めて、通える範囲にどんな就労移行支援事業所があるのか、障害者就労支援センターなどに問い合わせてみましょう。

「コミュニケーションワーク」とは、芸術心理療法の考え方を取り入れ、動きやダンスを楽しみながら、言葉のない世界での相手との距離の取り方や自己表現の方法を身につけます。「ソーシャルスキル」とは、人の気持ちや感情を理解するための言葉探しや、人生のビジョンを発見するワークなどをグループで進めます。民間の就労移行支援事業所としてはとても珍しい試みで、こうした事業所が増えることが期待されています。

なお、一般的に就労移行支援事業所の利用料は、本人に収入がない限り無料のところがほとんどですが、念のため、希望する事業所に問い合わせてください。

ホープIT訓練センター <http://www.hope-it.or.jp/facilities.html>

また東京都では、「発達障がいのある人の就職や職場定着に関する支援」を独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構、^{*}東京障害者職業センターが行っています。

これは、発達障がい（知的障がいを伴わない）の診断を受けている人を対象に、就職前の準備から就職後の定着までのトータルな支援を個々の状況に応じて行っています。

発達障がいのある人の職業訓練の一つに障害者自立支援法に基づいた「就業実習を通じて、その人の適性に合った職場への就労につなげることです。こちらは、一般社団法人が独立運営する事業所や、区市町村から委託を受けたNPO法人が運営する事業所があります。公立の職業能力開発校よりも身近な場所で訓練が受けられるメリットがあり、障害者就労支援センターや地域の相談支援事業所などから紹介されることが多いようです。

事業所によっては、特に発達障がいのある人を意識したプログラムを組んでいるところもあり、その例を左頁に

※東京障害者職業センター http://www.jeed.or.jp/jeed/location/chilki/13_tokyo.html